

**1 美術館の利用の承認等に関する業務****● 来館者数の動向**

- ・第2四半期の来館者数は、3,427人(前年度同期 4,642人)で、前年度同期と比べ約73.8%であった。
- ・来館者数減少の主な要因は、設備機器の修繕を行うため、7月2日から7月31日まで約1か月休館したことによる。
- ・再開館後の8月は前年比14.3%増の来館者があった。

**2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務****● 施設・設備の維持管理**

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・異常が発生した場合、速やかに対応し、施設の維持管理に努めた。
- ・修繕に伴う館内空調の停止や記録的な猛暑による想定外の不具合について迅速に対応した。
- ・恒温恒湿機のエラーなど、迅速な対応と報告で適切な設備管理に努めた。
- ・作品検索システムへ図版を追加し、来館者へのサービス向上に努めた。

**● 施設の運営**

- ・展覧会ごとにチラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

**3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務****● 展示・その他事業**

- ・7月の休館期間を除き、8月・9月と計画的に企画展及び特別展を開催した。
- ・各展覧会で展示解説を行い、延べ158人の参加者があった。
- ・夏休み期間に合わせ子ども向けのプログラムなど普及事業を開催した。
  - \* 親子ワークショップ「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」
  - \* 子ども参加プログラム「墨を使って日本画のスケッチを体験しよう」
  - \* 子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺り技法を体験しよう」
  - \* 子ども参加プログラム「夏休み親子鑑賞」
  - \* 日本画ワークショップ「扇形の画面に日本画を描こう！」
  - \* 地下道ギャラリー50展示

**● その他必要な業務**

- ・近隣文化施設とのスタンプラリーを実施するなど、他館との連携に努め美術館のPRを行った。
- ・社会貢献活動として、学芸員実習生2名、高校生のインターンシップ5名を受け入れた。また、鎌倉国宝館の学芸員実習生及び神奈川県立近代美術館のプログラム参加者計23名に展示解説等を行った。
- ・地下道ギャラリー50を利用して、夏休み子ども参加プログラムで子どもたちが描いた作品の展示を行うとともに美術館の紹介や活動の周知を行った。
- ・自主消防訓練を実施し、11名が参加した。

**4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務****● 収集・保管**

- ・作品等の保管や展示の状況確認を8月16日に行い、結果は良好であった。
- ・下絵の寄贈申出について、適切に対応した。

## ● 調査・研究

7月

大正8年の金沢旅行の旅程に関する調査、藝術院会員陸軍献納展に関する資料の調査、木版画の摺り方に関する調査、桜田濠の柳の意に関する資料の調査、清方の弟子と清方との交流についての調査、金鈴社の画家の画業についての調査、美人画二十題展出品作の調査、『中央美術』に関する調査、田口掬汀著作の清方の口絵に関する調査、清方著『新浮世絵講義』『美人画講話』に関する調査

8月

美術館における赤ちゃんの受け入れと鑑賞に関する実例調査、清方の随筆における鏡花に関する記述の調査、御殿場疎開中の清方の活動と人的交流についての調査、金鈴社に関する新聞および雑誌記事調査、下絵・スケッチの詞書に関する調査、田口掬汀と『中央美術』に関する調査、『新浮世絵講義』と『美人画講話』に関する調査

9月

泉鏡花の小説に関する調査、清方の随筆における鏡花に関する記述の調査、金鈴社に関する美術記事の調査、清方『新浮世絵講義』『美人画講話』に関する調査、金鈴社同人及びその作品に関する調査、清方の金鈴社に関する記述の調査、雑誌『中央美術』と田口掬汀に関する調査、清方の御殿場での制作活動に関する調査、新派による鏡花作品上演に関する調査

## 5 その他市長が定める業務等

### ● 事務処理

・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(7月分:8月14日、8月分:9月12日、9月分:10月12日提出)。

・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

・市広報に展覧会や子ども参加プログラム、日本画ワークショップ等の情報を掲載し、市民への周知を行った。

・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

### ● 事故・苦情対応

・事故や苦情はなし。

### ● その他

・全国博物館館長会議に出席し、他の博物館等との交流を図り、情報収集に努めた。

## 6 全体評価

・第2四半期は、約1か月間の休館があり、単純に来館者数を前年度比較することはできない。月単位で見ると、開館後の8月は前年度比で14.3%増、台風の影響を受けた9月は3.8%の微減であった。

・約1か月間の休館期間中は、猛暑に加え、館内空調を停止したことの影響から、予期せぬ設備等の不具合が生じたが、適切に対応し正常化させた。

・長い休館後の8月に夏休み向けの普及事業が集中したが、ボランティアやインターン生及び実習生をまとめ、ワークショップを適切に運営し、参加者から高い評価を得た。

・ワークショップ開催時には、熱中症対策を講じるなど、参加者にきめ細かい対応を図った。

・高校生のインターンシップ生、大学生の学芸員実習生を受入れ、それぞれの目的にあった作業や課題を与えるなど、研究を行う美術館としての役割を果たした。

・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。また、定期的な清掃・庭園整備だけでなく、日々職員が清掃や剪定作業を行い環境づくりに努めている姿勢は評価できる。



評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
<b>1 利用の承認等に関する業務</b>			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	-	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
<b>2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務</b>			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
<b>3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務</b>			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
<b>4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務</b>			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
<b>5 その他市長が定める業務等</b>			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
<b>減点の計</b>			<b>0</b>

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%